

青丘文庫研究会の飛田雄一です。みなさん、コロナの収束がなかなか見えず不安な毎日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

---

#### 青丘文庫研究会ご案内

---

1月10日（日）、在日朝鮮人史運動史研究会

■①午後2時～上田文夫「戦後電源開発と朝鮮人労働者 ～国鉄土幌線付替工事を事例に～」

■②午後3時半～塚崎昌之「大阪空襲と朝鮮人」

朝鮮近現代史研究会はお休みです。

会場 青丘文庫（神戸市立中央図書館内、TEL 078-371-3351、

新館3階で身分を証明するものだして入館証を受け取り4階会議室にお越しください。）

---

#### <今後の予定>

※発表希望者は、水野直樹または飛田雄一に連絡をお願いします。

2月14日（日）、在日（廣瀬陽一）、近現代史（勝村誠）

3月14日（日）、在日（高木伸夫）、近現代史（仲村修「木浦の涙」作詞者について）

4月11日（日）、在日（白 凜）、近現代史（朴洸弘「植民地期に日本軍人だった朝鮮人が受けた軍隊教育の影響について」）

5月9日（日）、在日（金明秀「レイシャルハラスメント：概念の輸入から現状まで」）、近現代史（未定）

6月13日（日）、在日（休み）、近現代史（①金早雪「韓国地域福祉と感染症対策の小史」、②李恵子『『済州・美しさのかなた』（李恵子訳、キンドル版）について」）

7月11日（日）、在日（①福本拓、②安岡健一）、近現代史（休み）

8月は休み

9月12日（日）、在日（瀬戸徐映里奈）、近現代史（未定）

10月10日（日）、在日（未定）、近現代史（未定）

11月14日（日）、在日<神戸映画資料館で？映画会>、近現代史（休み）

12月12日（日）、在日（未定）、近現代史（未定）

---

#### <新刊書のご案内>

(1) 印藤和寛『朝鮮史の誕生—朝鮮独立戦争と東アジアの歴史学』（かんよう

出版、2020.12、3000 円+税)

(2) 徐正敏『日韓関係論草稿—ふたつの国の溝を埋めるために』(朝日新聞出版、2020.12、1500 円+税)

(3) 大村益夫編訳『金学鉄文学選集 1—短編小説選、たばこスープ』(新幹社、2020.12、2500 円+税)

(4) 『むくげ通信 2020 年版合本』(むくげの会、2020.12、1100 円+税) ※目次は、<http://ksyc.jp/mukuge/tuusinn.html>